

PCAPS 研究会・QMS-H 研究会合同シンポジウム

医療への質マネジメントアプローチ

平成 27 年度最終成果報告

PCAPS 研究会

PCAPS の実装・臨床分析・社会システム構築

プログラム

日時：2016 年 2 月 27 日（土） 13:00～17:00 終了予定

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス 63 号館 2 階 03, 04, 05 会議室

患者状態適応型パス[PCAPS(ピーキャップス):Patient Condition Adaptive Path System]は、臨床知識の構造化と、知識の再利用を支援します。PCAPS 研究では、医療の質安全保証の実現のために、品質管理工学における標準化とプロセス管理の概念を投入し、医療サービスの中で個々の患者に提供されている無形の臨床プロセスを、可視化、構造化、標準化、IT 化していきました。PCAPS 研究会では、「患者状態適応型」という医療サービスの特性を表現する構造モデルを適用して、構造化臨床知識コンテンツを医療の領域毎に開発し、臨床実践における当該知識コンテンツを再利用するための方法論を開発しています。

H27 年度は、①実運用への適用(異なるタイプの 4 病院実装モデル)とその効果特定の方法論の検討、日常業務実施により蓄積されるデータの価値の確認、新たな知識獲得のための日常臨床データ蓄積活動の意義の確認、②臨床分析実施および実施可能コンテンツの開発、③診療ガイドライン研究とのコラボレーション、④質評価による病院や地域の PDCA サイクル実現可能性への挑戦、④社会システム構築に向けた連携システムの設計と有用性・実現可能性の検証、といった研究活動をやって参りました。

研究メンバーは、PCAPS の社会実装によって、医療の質改善を享受できる社会にしたいと考えています。本シンポジウムにぜひご参加いただき、活発な意見交換をお願いいたします。みなさまのご参加をお待ちしています。

PCAPS 研究会 代表：水流聡子
顧問：飯塚悦功
アドバイザー：棟近雅彦

主催：東京大学大学院工学系研究科 医療社会システム工学寄付講座

PCAPS 研究会

後援：一般社団法人ヘルスケアイノベーション研究開発センター、PCAPS-IMT コンソーシアム

研究助成：平成 27 年度厚生労働科研地域医療基盤開発推進研究事業（中山班）

平成 27 年度科学研究費助成事業 基盤研究(B)（作田班）

平成 27 年度国立がん研究センター研究開発費（加藤班）

科学研究費補助金（基金） 挑戦的萌芽研究（水流）

司会：下野僚子（東京大学）

13:00-13:15

I：統括報告

水流聡子（東京大学）

13:15-14:15(各 20 分)

II：PCAPS の実装とプロスペクティブデータによる臨床分析の可能性

- ・ 聖マリア病院：新電子カルテとの疎結合による SOAP 記録の実現, リハビリ臨床分析
荒木昭輝・井出睦(聖マリア病院)
- ・ 禎心会病院：PCAPS による計画立案・オーダー発行・HIS 連携・構造化サマリー生成
伊東敏弘(禎心会病院)
- ・ 飯塚病院：局所麻酔手術(眼科白内障)の 1 年間データによる臨床評価 成松慧・名取良弘(飯塚病院)

14:15-15:15

III：パネルディスカッション：がん医療の質向上のための組織的改善 PDCA サイクルの実現

- ・ パネルリーダー：若尾文彦(国立がん研究センター)・水流聡子(東京大学)
- ・ パネリスト：飯塚悦功(東京大学)、名取良弘(飯塚病院)、青儀健二郎(四国がんセンター)、
羽藤慎二(四国がんセンター)、吉岡慎一(兵庫県立西宮病院)、小口秀紀(トヨタ記念病院)、
秋山聖子(仙台医療センター)、嘉和知靖之(武蔵野赤十字病院)、塚本憲史(群馬大学医学部附属病院)

~~~~~  
休憩(10 分)  
~~~~~

15:25-16:10(各 15 分)

IV：PCAPS を活用した出生・成長発達・急性期から回復期医療・在宅・施設までの連携システム

- ・ 周産期医療の地域連携支援システム 吉原雅人(トヨタ記念病院)
- ・ こどもを中心とした地域保健医療システム 本木隆則(東京慈恵会医科大学附属第三病院)
- ・ 回復期リハビリ病棟における PCAPS(患者状態適応型パス)開発経緯
進藤晃(大久野病院) 発表：谷崎浩一(東京大学)

『医療の質安全保証に向けた臨床知識の構造化（4）
患者状態適応型パス [PCAPS の活用と臨床分析]』（日本規格協会） 本体価格：5,500 円
水流聡子・飯塚悦功・棟近雅彦監修 患者状態適応型パスシステム研究会編著



ポスターセッション準備(5 分)

16:15-16:55

V:臨床知識の構造化:ポスターセッション(ラウンド形式, 1 領域質疑込 10 分)

※ポスターセッション会場は、会場を出た廊下になります。座長の方・発表者は開始 10 分前にはお集まりください。

ストリーム A 座長：青儀健二郎(四国がんセンター)

- 1) 認知症：認知症診療構図開発および MCI 患者の睡眠に関する調査 谷崎浩一（東京大学）
- 2) 在宅看護：在宅看護での PCAPS 実装 山崎潤子（緑が丘訪問看護ステーション）
- 3) 介護：特別養護老人ホームにおける重度要介護者への生活機能訓練の試み 大塚芳正（美芳会）
- 4) リハビリ：脳卒中患者のリハビリテーションにおける作業動作獲得過程の設計 安藤岳洋（東京大学）

ストリーム B 座長：羽藤慎二(四国がんセンター)

- 1) 呼吸器内科：喘息・COPD における吸入指導 田窪真行・神保美紗子（スギ薬局）
発表：茂木孝（日本医科大学呼吸ケアクリニック）
- 2) 小児科：学校健診データを利活用した小児地域保健医療システムの構築 仮屋崎真希（東京大学）
- 3) 小児科：食物アレルギー疾患を対象とした小児地域保健医療システムに関する研究
三瀬義博（東京大学）
- 4) 介護：介護 QMS モデル構築とその効果による各分野における質の向上と整合性
齊藤日出雄（みまき福祉会） ※ポスター掲示のみ

ストリーム C 座長：吉岡慎一(兵庫県立西宮病院)

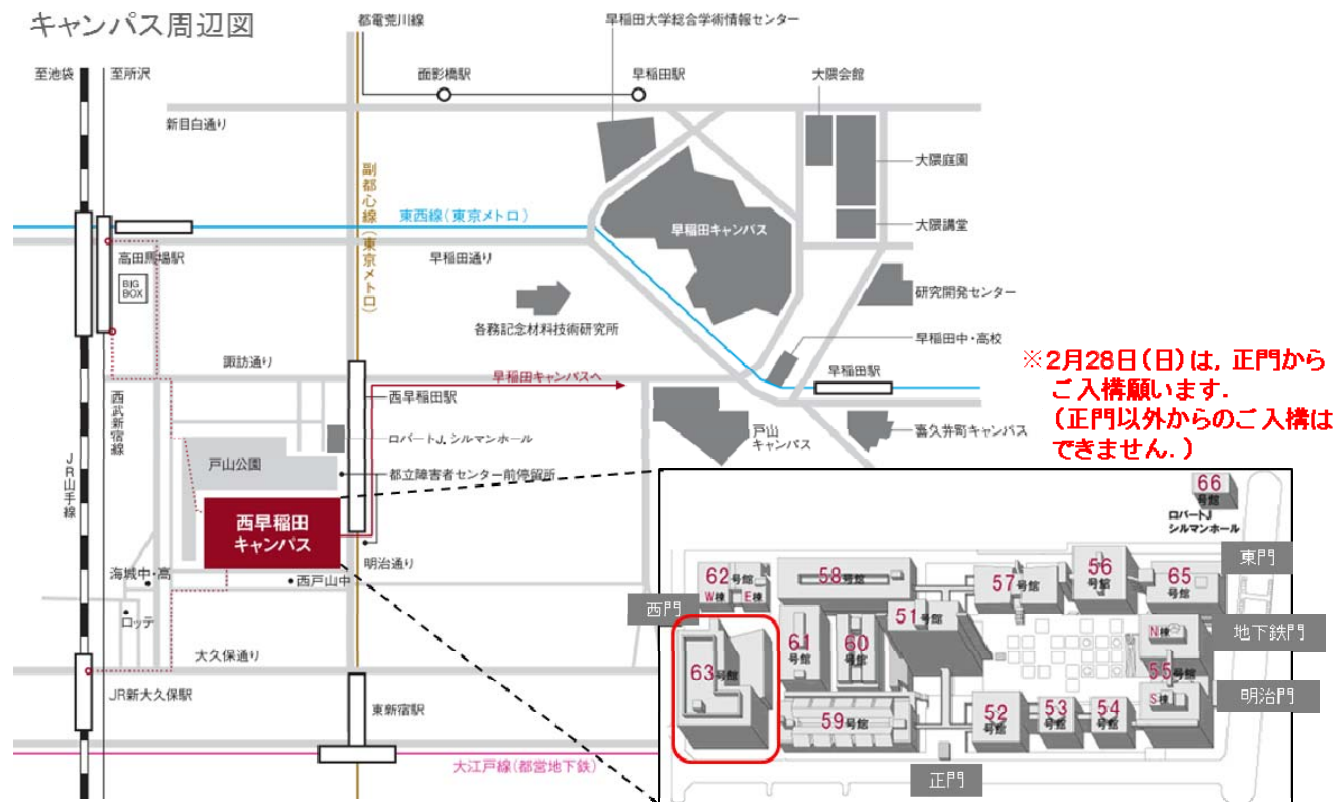
- 1) 看護：入院後、敗血症に至った症例の後向き調査から見えてきたもの 野見山由美子（飯塚病院）
- 2) 課題別：手術患者を対象とした質・安全保証を目指す病床管理システムの構築 野原珠華（東京大学）
- 3) 課題別：執刀計画レビューモデルの構築 高尾璃加（東京大学）

16:55-17:00

VI:今年度のまとめと来年度以降の計画

水流聡子（東京大学）

キャンパス周辺図



【シンポジウム会場】

本 会 場 : 早稲田大学西早稲田キャンパス 63 号館 2 階 03, 04, 05 会議室

ポスター会場 : 早稲田大学西早稲田キャンパス 63 号館 2 階 03, 04, 05 会議室

シンポジウム運営組織

代表	水流聡子 (東京大学)	
アドバイザー	棟近雅彦 (早稲田大学)	
顧問	飯塚悦功 (東京大学)	
運営 スタッフ	<PCAPS 事務局> 下野僚子 (東京大学) 谷崎浩一 (東京大学) 康明淑 (東京大学)	<学生スタッフ> 高尾璃加 (東京大学修士課程) 仮屋崎真希 (東京大学修士課程) 鈴木悠人 (東京大学修士課程) 安藤岳洋 (東京大学工学部) 野原珠華 (東京大学工学部) 三瀬義博 (東京大学工学部)

問い合わせ先 :

PCAPS 事務局

E-mail : Office_PCAPS@umin.ac.jp

TEL : 03-5841-7301 FAX : 03-5841-7276

本研究事業 HP : <http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/index.html>

注意 : カメラ撮影はご遠慮ください。PCAPS は各種特許申請済みです。